

応用線形代数—第2回レポート

東京工業大学 情報理工学院 数理・計算科学系
福田光浩

2017年度 第1クォーター

提出〆切 4月27日(木) 15時まで

レポートボックス1-1 応用線形代数

1. 以下の等式を示せ.

$$\det \begin{pmatrix} x & -1 & 0 & \cdots & 0 & 0 \\ 0 & x & -1 & \cdots & 0 & 0 \\ & & \vdots & \vdots & & \\ 0 & 0 & 0 & \cdots & x & -1 \\ a_0 & a_1 & a_2 & \cdots & a_{n-1} & a_n \end{pmatrix} = a_0 + a_1x + a_2x^2 + \cdots + a_nx^n$$

2. 以下のように行列 \mathbf{A} とベクトル \mathbf{b} を定義する.

$$\mathbf{A} = \begin{pmatrix} 2 & 1 & 4 & 3 \\ 3 & 0 & 1 & 3 \\ 1 & 3 & 2 & -1 \\ 5 & 1 & -2 & 3 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 0 \\ -6 \\ 5 \\ -15 \end{pmatrix}$$

- (a) 線形方程式系 $\mathbf{Ax} = \mathbf{b}$ の解を Gauss の消去法, もしくは Gauss-Jordan の消去法を用いて求めよ.
- (b) 行列 \mathbf{A} の行列式を求めよ.
3. 与えられた行列 $\mathbf{A} \in \mathbb{R}^{n \times n}$ に対して線形写像 $T_{\mathbf{A}}: \mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{R}^n$ を $T_{\mathbf{A}}(\mathbf{x}) = \mathbf{Ax}$ と定義する. 以下が同値であることを示せ.
- (a) $\mathbf{Ax} = \mathbf{0}$ の解は自明な解のみである.

- (b) $\mathbf{Ax}_1 = \mathbf{Ax}_2$ ならば $\mathbf{x}_1 = \mathbf{x}_2$ となる. つまり線形方程式系の解は一意であり, 線形写像 $T_{\mathbf{A}}$ は単射である.
- (c) 任意の \mathbf{b} に対して $\mathbf{Ax} = \mathbf{b}$ となる \mathbf{x} が必ず存在する. すなわち線形方程式系 $\mathbf{Ax} = \mathbf{b}$ は任意の \mathbf{b} に対して解けることができ $T_{\mathbf{A}}$ は全射である.
- (d) $\det \mathbf{A} \neq 0$.